

中堅職員に聞く！

市役所の仕事って？

家庭との両立はできる？

質問

- ①今の担当業務は？ ②仕事のやりがいは？ ③仕事と家庭の両立はしやすい？

消防署

軌保消防副士長

(平成27年4月1日採用)



- ① 救助や救急の現場で、救急救命士として活動しています。チームで市民の命を守り、一人でも多くの方を安全に救うため日々全力で取り組んでいます。
- ② 現場で訓練の成果を発揮し、無事に救助できたときや市民の方に感謝の言葉をいただいた瞬間に、この仕事の責任と喜びを強く感じます。
- ③ 育児休業を取得し、子どもの成長をしっかり見守ることができました。職場の理解もあり、家庭と仕事の両立がしやすい環境だと感じています。

- ① 安全なまちづくりに向けた、消防施策の企画・調整を担当しています。その他、消防の予算管理や部内会議の運営を通して、組織全体を支える役割も担っています。
- ② 現在は事務主体の勤務ですが、火災や救急現場に円滑に出動・活動できる環境を整えたり、消防組織の課題の改善策を形にしていくことにやりがいを感じます。現場を支える「縁の下の力持ち」として貢献できることに誇りをもっています。
- ③ 部分休業制度を活用し、午前8時30分から午後3時15分まで勤務しています。退勤後に、公園で遊んだり習い事に通ったりと、子どもと過ごす時間も大切にできており、充実した毎日を過ごせています。

消防総務課

花村消防副士長

(平成28年4月1日採用)



柏井保育園

貴志保育士

(平成23年4月1日採用)



- ① 担当クラスを持たず、休暇や研修などで不在となる保育士がいるクラスに入るフリー保育士をしています。
- ② 言葉の成長、やりたくない・できないことも友だちと一緒に挑戦してみるといった心の成長など、子どもの成長をそばで感じられることがやりがいであり、楽しみでもあります。子どもが成長するまでの過程を一緒に過ごし、喜び合えることが保育士の魅力です。
- ③ 部分休業や育児短時間勤務の制度を利用し、家庭とのバランスを取りながら働くことができています。子育て経験が生かされるととても素敵な仕事だと改めて感じています。

子育てに関する制度利用率 (令和6年実績)

育児休業取得率

女性
100%

男性
58.8%

子どもの出生時における父親の
5日以上のお休みの取得率
(出産介助・育児参加)

94.1%

女性職員はもちろん、男性職員の子育てに関する制度利用も増えてきています！